

AAFC 2023 年2月 12 日 分科会

第一部 懐かしの歌謡曲特集

あの頃街に流れていた、あの歌

AAFC 古田部

☆ 昭和の大衆文化の中で最も多くの人々に親しまれ、愛されたのが昭和歌謡ではないでしょうか。

昭和 38 年の第 14 回紅白歌合戦の視聴率が 81.4%という凄い記録があります。ほとんどの人々が歌を聴き楽しみ行く年を惜しみました。

やはり昭和 30 年代から 40 年代にかけて街に流れていた昭和歌謡が詩、曲、歌唱、共に最も充実していたように感じます。

今回はその頃の曲を中心にレコードで聴いて頂こうと思います。

☆ 今回の HiFi システムは 1970 年代 (昭和 50 年ごろ)を代表する機器で揃えました。

*カートリッジ デンオン DL-103

*パワーアンプ ラックス 5M20

*スピーカー タンノイ GRF

- ①美空ひばり 悲しき口笛 S24
- ②春日八郎 赤いランプの終列車 S27
- ③岡晴夫 逢いたかったぜ S30
- ④三橋美智也 りんご村から(モノ) S31
- ⑤三浦洸一 東京の人(モノ) S31
- ⑥フランク永井 有楽町で逢いましょう(モノ) S32
- ⑦石原裕次郎 港町・涙町・別れ町 S44



☆名曲「雨の酒場で」 S29 ディックミネ聴きくらべ

⑧五木ひろし S50

⑨鶴田浩二 S45

☆ 望郷歌謡(ふるさとを歌った曲)特集

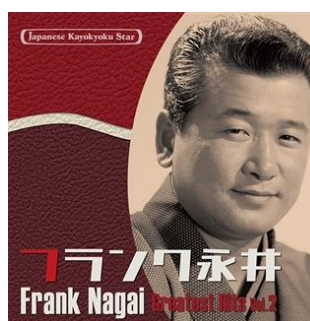
「歌は世に連れ、世は歌に連れ」という言葉がありますが。

当時、多くの若者がふるさとを出て、遠く離れた都会で働いていました。

⑩藤島桓夫 凧凧あがれ S33

⑪佐々木新一 リンゴの花が咲いていた S41

⑫青木光一 柿の木坂の家 S32



以上